

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	総合政策学部・外国人留学生入試
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

本問題は、受験者に対して、十分な日本語能力を持つかどうかだけでなく、題意を理解したうえで論理的に解答する能力を有するかを問うものである。以下の点を特に評価する意図がある。

1. 題意に対する理解と文章構成力

問題文にある指示に従ったうえで、限られた字数の中で文章を構築し、解答できているかどうか。これは読解だけでなく、十分な文章能力が備わっているかどうかを判断する。

2. 論理的思考と展開

自身の考えを述べるだけでなく、それがどのような根拠に基づくものなのかを示し、論理の飛躍無く、読者に対して説得的に展開できるかどうかを判断する。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	国際経営学部・外国人留学生入学試験【A 方式】
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

I. 文法・語彙問題

短文の空欄補充問題 10 問。英文のレベルは、国際経営学部の CEFR B1 レベルの英語授業で用いるものを中心に英語の基礎力を見た。品詞（名詞、動詞、形容詞、前置詞）などを正しく用いることができるか、また熟語や慣用表現などを出題した。英文のトピックはビジネス、経済、政治、技術など偏りが無い出題とし、(6) (7)では日常会話文も出題している。

II. 空所補充と読解問題

ニカラグア手話の発生と発展について書かれた平易な文章を英語で読んだ。

Q1. 10 カ所の空欄に適切な語彙を埋め、英語の自然な運用が行えるかをテストした。(2) (3)の選択肢群はやや難しいが、他の設問の選択肢群は大学の授業で用いる語彙であるので正解したい。

Q2. 読解力を試す問題。素材文の内容と合致していれば True、合致していなければ False を選ぶ。歴史的な経緯、時間の前後関係や手話の活用範囲などを整理して読むと、正解を得るのは難しくない。

III. エッセイライティング問題

ここの設問では、受験生の個人的な体験の中から、これまで訪問して最も印象深かった場所について英語で書かせた。体験談に加え、なぜそこが最も印象に残ったのか、どのような影響を与えた場所なのかが読み手によく伝わるよう、自身の言葉で英語で書く。解答語数 90 語から 100 語が指定されており、解答者はこの形式条件を満たす必要がある。また、エッセイの内容の質に加え、文法、語彙、パラグラフ構成や書式なども複数名によって客観的に評価し、20 点満点で採点した。

IV. 日本語訳および日本語要約問題

400 語程度の英文を読み、その内容を理解した上で、指定された箇所の日本語訳および全体の日本語要旨を 200 字程度で書く設問である。外国人留学生 A 方式は、英語に限らず日本語も堪能な学生の採用を目的としているため、書き言葉での日本語能力を見る意図がある。今回読んだ素材は、クリスマスプレゼントを贈ることによる経済価値について。

(1) "If the metric of commercial value were appropriate to measuring the welfare effects of giving Christmas presents, Santa Claus would be a loser." という英文を和訳すると、「仮にクリスマスプレゼントを贈ることの福祉効果を測るために、商業的価値という尺度が適切だとすれば、サンタクロ

ースは敗者になるだろう。」となるが、If 節で始まる前半部分「仮に～だとすれば」の訳出が適切に書かれていたかが重要である。各語も、母語の影響を受けた訳をしたり、アルファベットをそのまま引用した場合は、正しい日本語ではないため減点対象となった。10 点満点。

(2) 素材全体を日本語 200 字で要約する問題は、横書き、改行・字下げ不要、句読点は 1 文字と数えるといった書式指定が守られているか、180 字以上解答欄が埋まっているかを審査した。正しい語彙、文法、適切な漢字（日本語で使われている漢字）・ひらがな・カタカナを用いて大学生レベルで書かれているかをチェックし、要約内容については、本文を読んでいなくても、日本語を母語とする人が要約文を目にしたら、素材の概略を把握できるかを中心に審査した。20 点満点。

以上